

☆10月は「ロータリー米山月間」です。

ロータリー創始者 米山 梅吉 翁

日本のロータリー創始者と呼ばれる米山梅吉は、1918年1月、目賀田 種太郎男爵を団長とする財政調査団に加わり、渡米し、最初の日本人ロータリアンであるダラス RC 会員の福島喜三次（ふくしま きそじ）と出会い、ロータリーに深い関心を抱きます。

1920年には福島喜三次も帰国し、在日米国人実業家のウィリアム・ジョンストンの協力を得て、1920年10月に創立総会を開き、1921年4月に東京 RC が加盟認証されました。

日本で最初のロータリークラブです。

次いで大阪ロータリークラブが1923年2月に加盟認証され、神戸、名古屋、京都、横浜にもロータリークラブが結成されましたが、第二次世界大戦が勃発し、ドイツ、オーストリア、イタリアのロータリークラブが解散し、1940年には日本のロータリークラブも相次いでRIを脱会しました。

東京 RC の解散に際し、米山梅吉は『重い足を引きずって私は今ここに立つ、こんなつらい気持ちで皆さまに語らねばならぬのは、20年来はじめてのことである。

私はただかかる結末になったことをお詫びしたい。しかし、われわれとしても時の流れに徒に手をこまねいておったのではない。日満ロータリーの建設のごときもその現れである。

しかし、時代の流れはあまりに急激であった』と述べました。

RI 脱会後は、ロータリークラブは、京都水曜会、東京水曜クラブ、福岡清和会、横浜同人会、北海道では職能協議会などの名称で存続しました。RI は1937年から5カ年の間に、ドイツ、イタリア、日本その他枢軸国軍隊の侵入または圧迫で33カ国において484クラブと1万6,700名の会員を一時的に失いました。

日本は1949年にRIに復帰しましたが、日本の復帰に尽力したジョージ・ミーンズは1953年7月から1972年6月30日まで事務総長を務め、2000年8月30日に亡くなりました。

日本の多くのロータリアンは、その死を悼み、ジョージ・ミーンズ奨学金基金の設立に協力し、またジョージ・ミーンズも日本の3クラブに各10,000ドルの遺贈をしました。

<ロータリー基本>

*経済と地域社会の発展月間 (Economic and Community Development Month)

2014年10月 RI 理事会は、10月を重点分野：「経済と地域社会の発展月間」とし、貧困地域の経済発展を目的とした起業家、地域社会のリーダー、地元団体を含む地域ネットワークの向上、雇用創出、支援が行き届いていない地域社会での貧困の削減、経済と地域社会の発展に関連した仕事に従事することを目指す専門職業人のための奨学金支援を強調する月間とした。(ロータリーの特別月間)

週 報

インスピレーションに
なろう

Be the inspiration

バリー・ラシン

2018-19年度 国際ロータリー会長



第2697号

平成30年
9月25日
2018年
SEP

那覇ロータリークラブ

第2821回例会報告

例会記録・予定

出席報告

会 員 数	79名
出 席 計 算 会 員	79名
出 席	37名
欠 席	42名
出 席 率	46.84%
訂 正 出 席 率	67.09%

欠席会員名 宮城、戸田、中村、碓井、比嘉、東川平（靖）、亀川（偉）、吉村、長山、与儀、平良（修）、鈴木、杉本、三反園、長嶺（善）、許田、國吉、具志堅、渡辺、下石、新垣（安）、朱、宜保、吉岡、井手上、上原（進）、上原（修）、真栄城、新垣（竜）、安里（繁）、長嶺（国）、畔上、川井田、藤井、米須、赤嶺、堀川、石垣、今西、下地、川畑、相良。

MAKE-UP 安里（晃）、名嘉、津嘉山<IM P-宜野湾>桑原<浦添>新本<ロータリーの友常任委員会>名嘉<地区クラブ奉仕委員会 TV会議>山城、上原（義）<会長・クラブ奉仕委員長勉強会>

ビジター

具志堅 一真 氏・比嘉 和明 氏（那覇西）
伊良皆 善子 氏（浦添）

ゲスト・スピーカー ヒラリー・ダウアー 氏

（在沖縄米総領事館 主席領事 政治軍事経済担当）

☆プログラム

10月2日（火）

「ロータリー米山奨学生」

ジョップ、パパムサさん（セネガル）

（世話クラブ：那覇南）

10月9日（火）「IMに向けて」

10月16日（火）14:00点鐘「沖縄分区IM」

於：パシフィックホテル沖縄「万座の間」

10月23日（火）休会

10月30日（火）

「11月・ロータリー財団月間に向けて」

RID2580 地区ロータリー財団委員

11月6日（火）「RLIについて」

根路銘 敦 地区研修サブリーダー（那覇東）

11月13日（火）「RYLAについて」

地区RYLA委員 小林 充 氏（那覇西）

那覇ロータリークラブ

事務局 那覇市西3-6-1（パシフィックホテル沖縄1階） TEL 868-1224 FAX 861-4918

E-mail アドレス naha-rc@m1.cosmos.ne.jp HP アドレス：<http://naha-rc.org/>

会長 山城 博美 副会長/クラブ奉仕委員長/会長エレクト 上原義信 副会長/クラブカウンセラー 亀川 榮一

幹事 松島 寛和 クラブ会報委員長 松元 剛 副委員長 井手上 功 委員 今福 吉和

■ニコニコBOX(*^^)

山城 博美 会長

米国総領事館ヒラリー・ダウアーさんの貴重な卓話に感謝して。ニコニコ。

亀川 栄一 会員

なにか良きことがありそうでニコニコ。

松島 寛和 幹事

週末に新潟へ行って参りました。長男のお嫁さんの御両親へ挨拶して参りました。今朝、長男から婚姻届けを出して来た報告がありました。幸せな日々を送る事を願っています。ニコニコ。

■幹事報告

松島 寛和 幹事

*ガバナー事務所より

平成30年7月豪雨 災害支援金の件、2018年9月25日付にて以下3地区の災害支援金専用口座に各238万円(計714万円)を送金いたします。

・2670地区(桑原征一ガバナー) 愛媛・香川・高知・徳島
・2690地区(末長範彦ガバナー) 岡山・島根・鳥取
・2710地区(吉原久司ガバナー) 広島・山口

*地区ローターアクター行事のお知らせ

10月27日(土)13:30~台東リバーサイドスポーツセンターにて『Piece Action~ピースの輪~』を開催致します。地区ターゲット「Piece」のとおり、人と人との繋がりを目的とした風船バレー大会を開催し、エコキャップ運動を同時開催します。世界中の子どもたちにポリオワクチンを届ける為、認定NPO法人日本委員会へ寄付いたします。参加希望の会員はクラブ事務局まで。10月12日(金)締切。

■新会員候補者についての通知

理事会で次の方の入会が承認されましたので

異議のある方は7日以内に申し出下さい。

氏名: 義元 大蔵(よしもと たいぞう) 氏

職業分類: 飲食店経営

職業: (株) ディーズプランニング 代表取締役

■特別会計 2018~2019年度 ニコニコBOX

本日のニコニコBOX ¥5,000
ニコニコBOX 累計 ¥151,000

■クラブへの寄付金贈呈

名嘉 義明 直前会長



名嘉直前会長より、山城会長へ、クラブへ三十万の寄付(ご母堂様の忌明け)が贈られました。

■会長報告

山城 博美 会長

*9月はロータリーの友月間です。本日はロータリーの友(縦書き・横書き)についてご紹介致します。初めは横書きでスタートした『ロータリーの友』ですがその後、俳壇、歌壇など、横組みでは具合の悪い欄が始まり、これらを縦書きで入れることになりました。1972(昭和47)年1月号から、縦書き、横書きを分けて、それぞれに表紙をつけました。左に開けると横書き、右に開くと縦書きという形の雑誌になりました。両面が表紙になった最初の号の表紙は陣羽織で、横書きは前から見たところ縦書きは後ろから見たところ、というように両面表紙の特徴を生かした面白いものになっています。ロータリーの友を読みましょう!

■2017-18年度 皆出席者 15名(敬称略)

*皆出席バッジ贈呈

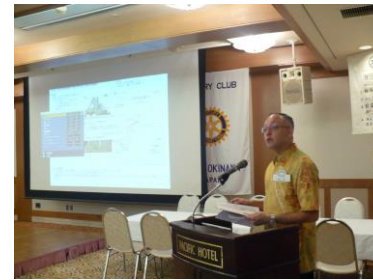
- 37年 親泊 一郎
- 30年 亀川 栄一
- 22年 新本 博司
- 16年 與座 嘉博
- 9年 新垣 淑典
- 7年 湧川 祐一
- 5年 名嘉 義明
- 4年 安里 政晃
- 3年 長山 宏
- 2年 松島 寛和・津嘉山 伸
- 1年 當間 卓・金城 智誉・傍田 賢治・眞榮平 房修

*次年度も皆出席を目指しましょう!

🌸 おめでとうございます 🌸

■卓話 「在沖縄米総領事館の役割は何なのか」

在沖米総領事館首席領事 政治軍事経済担当 ヒラリー・渡辺千里・ダウアー 氏



流暢な日本語でお話されるヒラリー氏

私は日本の姓名もある。父方の祖父は日本人で、物理科学者として日本の原爆研究に参加した。おじの一人はガタルカナルで亡くなり、もう一人のおじは特攻隊員として18歳で出撃予定だった。米国のおじは衛生兵としてビルマ戦線で戦った。戦後続く日米同盟の重要性を個人的にも痛感している。今のポストを義務と感じている。

東アジアの平和維持に重要な沖縄

日米同盟の軸になっている沖縄で、県民と共に頑張りたい。沖縄戦では米兵も1万2500人が亡くなった。米海兵隊史上、最も激しい戦いだった。海兵隊にとって、沖縄は特別な地だ。今の国防長官は元海兵隊の将官で、沖縄駐留の歴史的意義をよく分かっている。沖縄の基地整理統合計画は、簡単に言えば、海兵隊の基地を嘉手納より北に移す計画だ。沖縄本島の住民は嘉手納より南に集中し、北部はそんなにいない。沖縄の負担を軽減するために、多くの基地を本島北部や豪州、ハワイ、グアムに移す。

米政府の立場で、「負担」という言葉は口にはいけないが、沖縄県民の気持ちはよく分かる。海兵隊の将官はみな、沖縄の負担と、普天間飛行場が世界で最も危ない飛行場だと分かっており、辺野古移設計画を日本政府と一緒に作った。総領事館の役割はこの計画を沖縄の県民、政治家、企業家に理解してもらうことにある。東西冷戦が終わり、ソ連の脅威が弱くなり、日米同盟が南向けにシフトした。沖縄は戦略的、地政学的にも、日米同盟を強めるために

も、重要な所だ。県民にそれをできる限り、なぜ、沖縄が東アジアの平和を維持するために重要なかを説明している。

「反米」ではなく、県民は「親米」

総領事館は(米軍関連の)事件、事故、騒音などさまざまな問題に対応する役割も果たし、米軍をサポートしている。事件、事故が起き、地元の政治家から激しく抗議を受けたことがある。米国の公務員として、米国の立場を率直に伝えた方がいいと思ったが、ある新年会で同じ政治家から「丁寧に抗議を受けてくれ、ありがとう」と言われた。米側が沖縄の地元の声に耳を傾けるのは大事だ。米国の立場を伝えるだけではいけないと思うようになった。

「沖縄は反米」と周囲に言われて沖縄にきたが、全く違う。赴任した中東、イスラムで「本当の反米」をみたが、沖縄県民は親米だと思う。私見だが、在沖米軍はもうちょっと直接、県民の意見を聞くべきだと思う。米軍は抗議を受けると、攻撃されているという印象を持つようだが、それは違う。耳を傾ける大切さを軍に伝えているが、まだ十分に理解できないでいるようだ。

総領事館のもう一つの役割は、日米同盟を支える役割を果たしている自衛隊を応援することだ。日米首脳は、米軍と自衛隊が共に役割を果たすべきだと同意している。石垣島や宮古島への新しい配備計画が日米同盟の狙いに合っているとの立場であり、現地を視察し、計画を支援している。

最期に経済に触れる。トランプ大統領、ハガティ駐日米大使は経済、貿易、投資を熟知している。沖縄、日本と米国の間にもっと貿易、交易の機会をつくりたい。特にアメリカに投資が向かうように仕向けたい。

文責: 松元 剛 クラブ会報委員長 3